

NOTÍCIAS DO BRASIL
Publicado semanalmente

Rua Fagundes, 16
Praça, M. Tel. Cent. 5095
S. Paulo, Brazil
Proprietario e Editor
Seisaku Kuroishi

Assignatura

Por Anno.....	25\$000
" Semestre.....	13\$000
" Mez.....	2\$200
" Semana.....	\$600

有吉大使歡迎に對し多羅間領事
と意見を異にするど共に、大使
視察の案内に關し多羅間領事の

歡迎會であつた。自動車が揃つたりと云ふ知らせで、一同が立ち上り、例によつて例の如く大使を先頭に分乘して、一直線にリンスへ向け疾走し、一時間後の七時半にホテルへ着いたのであるが、此の夕は風全く落ち、自動車によつて巻き揚げられた黄塵は濺々として全車を掩ひ、呼吸するにも困難を感じるの状態であつた。

此の約束を蹈んで盛谷氏宅を訪ふた記者は、氏の案内で直ちに加藤氏宅に赴き、リンス日本人會幹部の人々と卓を圍み、大使の視察案内に關し多羅間領事との交渉顚末を聽いて後、記者の意見を參考にまで述べた。而して同會幹部の意見としては、最初から多羅間領事は日本人會側に好意を有たれ

ことは勝手なべしたと皮肉く
 つたが、一體新聞記者と云ふ奴
 は、いけ好かない者だといつた
 やうな顔色は、あり／＼と見へ
 てゐた。

三

十時頃多羅間氏と共に外に出
 た記者は、カーザ・ベルメリ
 ヲの店前で別れて、前約に基き
 澁谷氏を訪ふた。而して此の前
 約と云ふは、澁谷氏が會長とな
 つてゐる『リンス日本人會』が、

其處で記者は、先年在留民が
 サンパウロ市で、田村大使を歡
 迎せし時の手落を想起し、事を
 曖昧の裡に葬り置くは、時に官
 憲の執り行ふ公務の上にも影響
 することがあるから、言ふべき
 事があるなら、言つて置くのは
 却つて後日の爲めに宜からうと
 して、左の實際談を試みた。

『先年田村大使が公式來聖の際、齊藤
 總領事は歡迎方法に關し予(記刊)に相

設に成功したものに上塚植
あり、平野植民地あり其他
と大小の差こそあれ其貢獻

藤井儀三郎

即ち面積千三百アルケイレスに對し十五萬圓を拂つたとすれば一アルケイル當り百十五圓、伯爵府は之等に對しては果して四百四十六三ミルとなる、こんな高い土地を買つたのではない苦だから、もつと巧に計算の辻褄を合せて置くがい。

翰取り土地賣業

度にはアリアンサより以上の犠牲を拂ひ、貢獻しつゝあるものが澤山ある府は之等に對しては果して何

以て報ひ且つ助けんとするのであるか。我々の見る所を言へば此の世の中に土地ブローカー程もろい儲け仕事か外に求め得られないと信ずる、土

文社を創設し青木

十五町歩即ち十アルケイレス
土地を利用して四アルケイレ
に珈琲を植ゑ、一アルケイル

信及に事務を擔當せしめ、候が道年より更に事務の整理に全力を注ぎ、事務を濟すに便する上は、致缺に御幸仰けり。御通知引廻はし、程願申上、侯と共に事務上の致缺に御通知相煩はる。度皇親様御座候間、各々地廻の際には、特に御便宜候と下され候。

伯刺西爾時報社

追でリンス支社事務所は左の如くに御座候
北西線リンス吊りオ・プランコ街五壹番

上までの諸費として六百ミルを種子は二俵あれば足り百それから土地管理料六年分千
 上してあるが、移民法規に五十五ミルより上はかゝらぬ。穀二千圓(六一頁之は面白い思
 移民はサントスに下船して五十あれば三人家族と存分に本で待つて居る人達は三萬圓
 氏地最寄りの驛までは凡てサ合ふ但し三四年分も一度に具へ價格の土地にして貰へんとい
 バウロ政府の費用で行き、驛付けよふといふのなら別事だのだから、成程之なら千
 ら移住地までは經營者の負擔?生活費約八ヶ月分を二コソ十圓拂つて小作人を世話して
 荷物と共に送致さる權利をトス六百ミルに計算してあるかつた方が四千六圓掛けであ
 り、違反ある可らざる事が規ら一月に三百二十五ミルとな／＼自分等でプラジル界ま

が出た云云ふつて、寄つてなかつて
 奪合ひの末だとは面黒ひが、讀んで
 見て内容の食料には失望せざるを得
 なかつたらう。
 □脂肪が高過ぎる　小林坊さん經營
 の聖州養蚕の脂肪が家賃も拂つてあ
 ないのに月百二十ミルとは高過ぎる
 と云ふ聲が外間にも洩れ出した、それ
 に年頃の青年男女の寄宿は監督に嚴
 重の注意を加へねと間違ひが生じは
 せぬかと心配する親達も出た、アラ
 シル青らはテンバLEMENTがケンテ
 だらが油断は大敵だ。

さか噂されてゐる、併し之は噂だから眞偽は追て探知の上放送する。

□サンパウロ時事　出さうで出なかつた鈴木貞次郎氏のサンパウロ時事も暮の押詰つた三十日に産聲を上げ

要務は低資回收成績の報告で、それに附加へて辭表提出の内相談もある

類りに密談中ださあ云ふ、無論其の

□辭表提出か　パウルー領事の多難

ら、立つさしても三月前には到底不可能だらう。

告を得ずして立つ譯にも行くまいか

まへと、兎に角折角金をかけてゴヤ
スや北伯を覗き盗つた日伯杜曼の眼

人さう言つて來ないので何時立つか
算當が付かないが、餘り遠くはあ

務省へ賜暇歸朝願を出したが未だ何

◎ 特設放送塔 ◎

□ 出立は三月過ぎ 赤松總領事は外

青天に霹靂の磨音に送る無

ふ御説法は頻々銀行破産の折柄

は産が出來て行く（六一頁）とい

す、地球の土地の管理に
知らぬ間に上

者には海外協會で小作人の世話

店よりは安全で加之、土地購

鐵道で慘死の災厄も起らぬ。

ん、マリアにか羅おそるな愧れも無なく

THESE DOCUMENTS ILLUSTRATE THE VARIOUS TYPES OF DOCUMENTS WHICH MAY BE USED IN THE COURSE OF A RESEARCH PROJECT. THEY ARE NOT INTENDED TO BE USED AS A GUIDE TO THE RESEARCH PROJECT, BUT AS A GUIDE TO THE RESEARCH PROJECT, THEY ARE NOT INTENDED TO BE USED AS A GUIDE TO THE RESEARCH PROJECT.

•

樹立の急務

是れ迄政府の伯國移民政策なるものを見るに、我れ人共に遺憾の點鮮しきしなかつたのであるが、漸次政府も覺醒して此點に注意を向けられる様になつて來たのは我々の大いに意を強ふするものである。

元來我等がブラジルに乗り出して來たものは、結局地主となつて獨立農となるのが抑もるの目的である、然るに従來政府の遣り口では、仲々此の目的に到達するのは容易の業ではない、現に多くの在留邦人が随分と艱難辛苦してやつてもやつても尙且つ此境遇に到達し得ないのが何よりも遺憾である。

斯様な次第であるから、然るべ

き土地を選定して邦人植民地を樹立し、適宜之を仕向けて遣らねば結局移民は所謂棄民となり終つて、浮ぶ瀬はなくなるであらう。

一、南聖植民地の現況

同植民地はジュキヤ線アレクリ
驛から南東に當りリペロン・
ド・エベシ河の上流十一キロメ

ートルの位置にあり、標高三百メートル、フイゲブランチ、ジャアリヨ、ローロ、オルチーガ、ジャラクワチャ、バルミットブランコ、ジャランジール等立派な製材の材料が密生して居る、地質はクルツラで優良なものである、ドートル・オズーリオ氏の鑑定に依ればカンピーナスやアンパローの地質よりも優秀

しにも係はらず、邦人の入植者の少なかつたのは、そこはやはり外人の賣り出しで邦人向きに仕組んで取扱つて呉れなかつた爲めだつたらうと思ひます。

二、ジュキア線邦人

狀況

サントスからジュキア驛まで、
線に亘り居住する邦人（主に油
繩縣人）は、千家族に近からず
アレクリン驛附近丈でも二百家
族を越して居る、而して市内で
商工業に従事して居るもの、又
は漁業等特殊なる業務に就いて
居るものを除く外、多くは農業
又は木炭焼に従事して居る、此
の農業者の多くは借地農である
事が特に注意すべき問題で、土

地所有者は至つて少いのである。一例で申せばイタリヤ及びビアラクトリン附近の居住者三百家族のうち、中土地所有者は僅に三十家族で、餘の二百七十家族は借地農との事である。

之等農業者の主業とする所は市に近しいものは野菜作り、其他は米作りが主で、木炭焼きも可なり。

多い、要するに主作物が短期物であるから年の豊凶、物價の騰落に依つて生産に動搖を來し、住所も亦一定せず、所謂處女林を追ふて轉々移り行く有様は實に寒心に堪へざる事である。然るに此地方人の風習として能く郷里に送金し、又は呼寄移民を多く遣ふのである、要するにジユキヤ沿線の邦人に望む所は遠かに土地を購入して地主とな

人の理想の定住地として申分
ない所と考慮する者であるか
る今の中此の奥地を五千乃至
一アルケール購入し、邦人の
民地とすることは又さなき絶
の機会であると思ふのである
愛新くすれば新たに送り込ま

五 連年で附 問る ナ 道 移民は勿論現在鐵道沿線多數
邦人小作農業者に取つても大
に便益が與へられる譯合であ
四、速かに着手せよ
植民地の經營方法に至つては
其の人もあらうし、又其の

大和 旭 末廣

所次取符切定

東京館
上地
小川

大阪商船會社指定切符取次所

臺市旅館同業組合

大和

旭

末廣

東京館

上地

小川

坊迫健蔵
電話セントラル五八一九

秋田 桑三郎

中山 忠太郎

仲村渠三郎

上地彌造

コンセレイロフ・タド街十六
小川源右衛門

電話セントラル四四七六

COLONIZAÇÃO MARTINS

Rua General Couto de Magalhães, 26-sob. Caixa Postal, 1820
São Paulo

土地賣却

聖州實業界の重鎮並に大地主として普く天下に知られたるジョン・ゼ・バルチンス氏經營に係るマルチンス諸植民社は現代的植民の要求に順應する諸設備を完成して勇敢なる我同胞農家及び故國資本家並に各樹園の爲に同社所有の珈琲栽培に最適なる優秀肥沃なる一大處女林を希望に應じ既に幾千アルケル茲に説明の要なします、地券以上決定あり、茲に説明の要なしして交拂法容易距離近く清水豊富健康地にして本社賣却に係る同胞地設植民地としてはバラダグス驛の太陽文化、ジェ・テオドロ驛の幸哉、クワタ驛の昭和の四植民地あり何れも珈琲栽培を專業として着々向う發展しつつありますサベザル驛レトニア人經營のワルバ植民地に隣接したるパウリスタ延長線にかゝる七千五百アルケル以上の優秀肥沃の土地を最も安價にて提供します。

百聞は一見に如かず是非一度は實地御視察の上多少に拘はらず御購入を願ひます。

實地視察希望者には、聖市より目的地迄片道二等乗車券を差上ります。

本社所有土地の新地圖九色刷りが出来ましたが御希望者には御一報次第差上げます。

尙詳細は直接又は紙面にて左記へ。

新いらし種子物が來

たま

◎セボーラ種子(本場カナリ)

△△△△△△△△△△
方聖煉櫻宮時大節青
領護馬島重無成長
大大大大大白白胡
根根根根根根瓜瓜瓜

△△△△△△△△△△
新大東千白大朝山
葉京筋莖莖子鮮東
菊高水京體子白白白
菜菜菜菜菜菜菜菜菜

△△△△△△△△△△
大瀧金ふ法三大時聖
長川時達王護
茄牛人ん無院
子莠蔘草草葉蕪蕪

◎ 各種廉賣
本年度當用日記 國民日記
各種廉賣

弊店の御得意様へ例年通りカレンダを贈送いたしました
たが若し末だ御手許へ届かざる方は御遠慮なく住所御
明記の上葉書で「カレンダを送れ」として御申越し下さ
い。

輸入商 中矢商店

聖市コンデサルセーダス十三番
電話.....セントラール六一三六
郵便.....二九九五

